

「福山市まちづくりサポートセンター」が主催された「みんなのつれのうて文化祭」を見学しました。

2023年11月19日（月）、福山駅近くのiti SETOUCHI で開催された「つれのうて文化祭」に行ってきました。ステージ発表と20近いブースでの出展があり100名くらいの人が集まって賑わっていました。「つれのうて」とは備後弁で「連れ立って」という意味です。



ステージ発表では、NPO 法人ハンズオン埼玉副代表理事の西川正さんの講演が印象的でした。特に「おとうさんのヤキイモタイム」や「トークフォークダンス／大人としゃべり場」は素敵な交流の場ですね。

<https://greenz.jp/2018/02/19/nishikawatadashi/>

<https://hands-on-s.org/syaberiba/>

実際に講演の途中で隣の人と1分間のしゃべり場がありました。話をする人と聴く人に分かれて、西川さんの言うお題（子どものころに楽しかったこと）について話をし、聴きました。自然と友達になれる場で楽しかったです。



西川さんの言われた「あそび（安心と工夫の余地）を保証すると遊び（遊ぶ、やってみる）が生まれる」というのはその通りだと思います。現代人は余裕がないので遊びが下手なようです。お金をかけなくてもアイデアと行動力で色々なことができるということを教わりました。

最後に福山市立大学の学生さんたちが、経営学部の授業「都市社会実践演習」で5つの市民団体にヒアリングに行き、聞いたこと考えたことをまとめた発表をされました。

地元の人たちがどのようなことを課題と捉え、どのような活動をされているのか知ることは大切なことだと思います。色々なことを感じられたようです。若者がヒアリングに訪れた団体の方も嬉しそうでした。次のステップは自分たちで社会課題を考え、その解決のために自ら活動することですね。

マツダ財団では、そのような活動をする若者を支援するためのプログラム「若者×ツナグバ」の2024年度の募集を現在行っています(2024/1/15 締め切り)。参加をお待ちしています。

#### <福山市まちづくりサポートセンター>

福山市まちづくりサポートセンター（まちサポ）は、福山市のさまざまな市民活動を、「集う・つながる・学ぶ・はじめる」の4つの視点からサポートしている中間支援組織です(2022年度より民間運営に移行し、ひろしまNPOセンターが運営されています)。

まちさぽではコロナ禍の数年間もオンラインで「福山未来共創塾」を開催され、多くの市民団体が参加されていました。その場でSDGsについて詳しく学ぶことができました。

福山市は「まちさぽ」が積極的な市民活動の支援を行われています。他の市町でも市民団体の集まる活動があれば見学させていただきたいと思います。そして、マツダ財団の市民活動支援を必要とされている団体があれば応募いただければと思います。

(井上)